

2008 年度陸水生態学実習レポート

駅前一等地！「アカシオ沢合流点」

～流れの構造と流下昆虫の解析～

2008/8/22
0500177515 井上拓也

1 序

今回の実習では、3日間ある自由研究の2日目に私事で東京へ行かなければならなかったため、解析に時間のかかるテーマを設定することができなかった。具体的には、実習参加者ならいずれ経験するであろう水生昆虫のソーティング・同定などである。そこで、フィールドで一際目を引く、支流アカシオ沢が本流黒川に流入するポイントの流れの構造を解析し、その物理的環境が「魚」にとって望ましいものなのかどうかを考えることにした。

図1にその合流点の写真を示す。



図1 黒川とアカシオ沢の合流点

以下に議論していくように、図1の左上から流入するアカシオ沢は、本流に直角に流れ込むのではなく、本流の流れ方向に対して30°くらいの角度をとって流入する。

そのために、合流点の窪みの部分はアカシオ沢由来の水がよどむことになる。すなわち、ここでは流速が小さく、今の時期では周りより有意に水温が低くなる。

実習二日目、一番に黒川に潜られた奥田先生の「大きいイワナが二匹ついている」というお話から、この場所がイワナの生息に適しているのではないかと考え、以下の三点について調査を行った。

- 流速
- 水温
- 餌